

横手市廃棄物減量等審議会議事録

日 時 平成22年3月26日(金) 午後1時30分～3時30分
場 所 本庁南庁舎 公室

1. 出席者

審議会委員 長 岩 嘉 悦 (増田一学識経験者)
柴 田 丈 生 (平鹿一学識経験者)
照 井 英 一 (大森一学識経験者)
佐々木 紀三郎 (大森一学識経験者)
赤 川 和 子 (横手一婦人代表)
笠 井 みち子 (横手一婦人代表)
佐 藤 静 子 (増田一婦人代表)
小松田 かよ子 (平鹿一婦人代表)
黒 政 和 子 (雄物川一婦人代表)
鷹 田 芳 子 (十文字一婦人代表)
高 橋 弘 子 (山内一婦人代表)
小棚木 美和子 (大雄一婦人代表)
佐々木 建 治 (横手一環境美化推進員等)
佐 藤 政 彦 (雄物川一環境美化推進員等)
熊 谷 秋 夫 (十文字一環境美化推進員等)
柴 田 光 雄 (大雄一環境美化推進員等)
佐々木 隆 一 (横手一事業所関係者)
以上 17名

欠席された委員 永 沢 敏 昭 (平鹿一学識経験者)
高 橋 登 (山内一環境美化推進員等)
亀 谷 吉 廣 (横手一事業所関係者)
以上 3名

市 長 五十嵐 忠 悦
森 屋 輝 夫 (福祉環境部次長兼環境課長)
斎 藤 正 弘 (環境課主幹)
高 橋 智 子 (環境課環境政策担当副主幹)
木 村 任 弘 (環境課環境政策担当主査)
栗 谷 淳 一 (環境課環境施設担当副主幹)

以上 6名
(出席者合計人数 23名)

2. 委嘱状交付

3. 開会

4. 五十嵐市長あいさつ

今回は、横手市廃棄物減量等推進審議会委員の任期換えに伴う第1回目の審議会であります。委員の皆様には、今後2年間「横手市の環境行政と廃棄物処理全般」に係わる審議等にご難儀をおかけするわけですが、よろしくお願いたします。

3月定例議会の平成22年度主要政策の中でも挨拶しておりますが、「横手市一般廃棄物処理基本計画」の見直し時期となっており、皆様の審議を得て見直しを図ってまいります。今日の案件については、詳細については事務局より説明するわけですが、初めての委員の方もおりますので、「環境課の年間を通じての業務概要」についての説明があります。また、「ごみ処理統合施設整備事業」については、昨年の審議会以降の説明をしておりません。今回の審議会では、平成21年4月以降の事業の進捗状況について、その経過をご報告させていただきます。それから、「平成22年度一般廃棄物処理実施計画(案)」について、皆様に諮問いたします。どうか、よろしくご審議下さるようお願いいたしまして、ご挨拶いたします。

5. 委員自己紹介

(名簿順に自己紹介)

6. 事務局自己紹介

(役職順に自己紹介)

7. 会長の選任

(事務局一任の声あり、事務局⇒森屋次長より提案)

会長 長岩 嘉悦 委員、全員拍手で承認。

8. 会長あいさつ

ただいま、会長に選任された増田の長岩です。再任ということで、2年間横手市の廃棄物処理について委員の皆様とともに頑張っておりますので、よろしくお願いたします。今日は、報告案件が2件と諮問案件が1件であります。よろしくご審議いただけるようお願いして、はなはだ簡単ではありますが挨拶いたします。

9. 会長職務代理者の選任

(事務局斎藤より、この件についてあらかじめ会長から指名することの発言、会長一任の声により佐々木紀三郎委員を前もって指名する提案が会長からあった)

(事務局⇒斎藤)

長岩会長より、佐々木委員さんが指名されました。よろしく願いいたします。

(佐々木(紀)委員)

了解いたしました。

(事務局)

会長の職務を代理する委員は、大森地区の佐々木紀三郎委員さんに決定されました。

10. 議事録署名委員の選任

(会長より、議事録署名委員を提案)

本日の議事録署名委員は、名簿順に柴田丈生委員と照井英一委員を選任、異議なしの声で承認。

協 議

(1) 環境課業務概要について

(会長)

それでは、時間等の都合もございますので、案件に入らせていただきます。案件(1)の「環境課業務概要について」を議題といたします。事務局より説明ねがいます。

事務局より資料に基づき、「環境課業務一覧について」説明。(森屋次長)

事務局より資料に基づき、「地球温暖化対策関係について」説明。(木村主査)

事務局より資料に基づき、「公害関係・指定ごみ袋について」説明。(斎藤主幹)

(会長)

事務局より説明がございましたが、「環境課の業務概要について」ご質問、ご意見等がございましたら、発言をお願いいたします。

(佐々木(健)委員)

環境学習の実施状況の中で、参加者が1名となっているがどうしてか。集

める努力をすべきと考えているが、また、このような機会をもっと増やして欲しいと思う。

(事務局)

参加者1名ですが、環境課に直接学習に来たものです。なお、環境学習の機会を増やすことについては、教育委員会等の関係機関とも協議をしながら努力をしていきたい。

(笠井委員)

子どもが学ぶと大人も教えてもらえるので、子どもの学ぶ機会を増やして欲しい。

生ごみ処理機に関するアンケート実施しているが、その結果を受けてどのように活用しているのか。広報等で結果を公表することや予算に反映させることも大事ではないのだろうか。

(事務局)

今後、もっと使い勝手のよいものにフォローアップできるよう考えたいと思う。

(柴田委員)

生ごみ処理機を初めて取組む人は素人なので、フォローが必要だと思う。また、ごみ減量化のためにも、生ごみのコンポストを進めていくべきと思う。

(事務局)

今後も、今出た意見を参考にしながら、この事業を進めていきたいし、ごみ減量化にも色々な施策を取組んで行きたい。

(笠井委員)

電動タイプは電気代がかかり、費用の面で難がある。

(熊谷委員)

EMを活用したコンポストを進めて欲しい。

(赤川委員)

コンポストを進めて欲しい。

(会長)

ほぼ、意見等が出尽くしたようです。それでは、案件(1)「環境課業務概要について」は、終了いたします。引き続きまして、案件(2)「ごみ処理統合施設整備事業について」を議題にします。事務局より説明願います。

(2) ごみ処理統合施設整備事業について

事務局より資料に基づき、「ごみ処理統合施設整備事業について」説明。(栗谷副主幹)

(会長)

事務局より説明がございましたが、「ごみ処理統合施設整備事業について」ご質問、ご意見等がございましたら、発言をお願いいたします。

(熊谷委員)

南部保全センターの場所で、住民の理解が得るのは難しいのではないのか。孫の世代に弊害が出るのが懸念される。十分な説明をする必要があると思われる。

(事務局)

建設用地については、周辺住民の理解を得られるよう十分な説明及び活動を積極的にしていきたい。具体的には、地元への説明会を実施する際に理解が得られるよう説明していきたい。

(会長)

ほぼ、意見等が出尽くしたようです。それでは、案件(2)「ごみ処理統合施設整備事業について」は、終了いたします。引き続きまして、案件(3)「平成22年度一般廃棄物処理実施計画(案)について」を諮問します。事務局より説明願います。

(3) 平成22年度一般廃棄物処理実施計画(案)について

事務局より資料に基づき、「平成22年度一般廃棄物処理実施計画(案)について」説明。(斎藤主幹)

(会長)

ただいま、事務局より説明がございましたが、「平成22年度一般廃棄物処理実施計画(案)について」ご質問、ご意見等がございましたら、発言をお願いいたします。

(佐々木(隆)委員)

計画の中に市の行政としての意見はどこにあるのか。具体的な減量について

て数値目標を示すべきではないのか。

(事務局)

合併後、分別収集の推進を進めてきている。平成19年4月から全市統一した分別収集及び手数料制の指定ごみ袋の導入をしてきております。資料6頁に一般廃棄物の排出のための方策等の推進することにより、減量化の効果が現れて来ております。今後もこの方策等を強力に推進して減量を図って行きたいと考えております。

(佐々木(隆)委員)

数値目標は、必要と考えるが示すことが出来ないのか。また、啓発・広報活動の実践づけをして行く必要があると思う。

(黒政委員)

数値目標は大事であるが、各家庭では出ないと思う。生ごみを堆肥化する方法が必要ではないか。各家庭でのコンポストの推進を図るべきである。

(笠井委員)

数値目標とはいかないでも、目的をきちんと示すべきである。業者側、家庭側で目標を具体的に示すべきではないのか。

(鷹田委員)

家庭での生ごみの水切りを徹底すれば、かなりの減量効果があるのではないかと思う。行政でこうやりましょうと出したらどうか。

(佐々木(隆)委員)

まず現在の数値を示すべきだ。それが無いと広報啓発活動の動機付けができない。

(柴田委員)

生ごみの減量や水分量など、市が国や県に比べてどの位置なのか示したらどうか。

(小松田委員)

ごみ減量についてのパンフレットの作成や、子供たちにも総合学習の機会を捉えてごみ減量に興味をもってもらい各家庭で話し合いをすることが大事であると思う。

(鷹田委員)

ごみ収集日程と一緒にパンフを配ったらどうか。

(熊谷委員)

パンフレットは誰も見ないし、すぐごみになるから不要である。

(柴田委員)

買物袋の持参や、地域の各集まりを利用した啓発にも力を入れていただき

たい。

(事務局)

委員の皆様から色々なご意見等がありましたが、数値目標については先ほど申し上げた施策を推進し、3%の削減を目標に削減の努力したいと思います。特に生ごみについては、80%が水分でありますので「水切り」の徹底を各家庭でしていただくことにより減量に大きな効果があると思います。県の目標を参考にしながら、啓発に力を入れて行きたいと思います。

(会長)

委員の皆様から色々な意見がでたわけですが、会議の予定時間もありますので、今各委員から出た意見「重点的なごみ減量の目標をクリアできる施策を強力に推進すること。生ごみの資源化の推進及び分別ルールの徹底に努力する」ことを付帯して答申し、減量化を図ることにいたしますがどうですか。

(委員)

異議なし。

(会長)

それでは、案件(3)「平成22年度一般廃棄物処理実施計画(案)について」は、そのように答申します。引き続き案件(4)のその他について事務局よりありますか。

(4) その他

(事務局)

こちらでは、特にありません。

(会長)

今日は、委員の皆様から活発な意見が多くいただきましたが、次回からは多くの協議時間を設定していただく審議会にしていきたいと思います。委員の皆様におかれては、大変お忙しいところご苦勞様でした。それでは、本日の審議案件はこれで閉じたいと思います。委員の皆様のご協力ありがとうございました。

(次長)

これで、本日の横手市廃棄物減量等審議会を終了といたします。委員の

皆様には、お忙しいところ長時間ありがとうございました。お帰りに際しては、交通安全にお気をつけてお帰り下さい。

11.閉会

平成 年 月 日

議事録署名委員 _____
